

大分工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	哲学概説	
科目基礎情報							
科目番号		30G502		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科		一般科目		対象学年	5		
開設期		通年		週時間数	2		
教科書/教材		プリント配付					
担当教員		堀 栄造					
到達目標							
(1) 西洋現代哲学を概観することによって、哲学的思考の仕方を理解する。 (2) 我々にとって異文化といえる西洋的思考および西洋の文化に接し,地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付ける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		哲学的思考を十分に理解できる。		哲学的思考をある程度理解できる。		哲学的思考を理解できない。	
評価項目2		西洋的思考・文化を十分に理解できる。		西洋的思考・文化をある程度理解できる。		西洋的思考・文化を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (A1) JABEE 1(2)(a)							
教育方法等							
概要		西洋現代哲学を概説する。プラグマティズムや新実在論や分析哲学といった英米哲学,生の哲学や現象学や実存哲学といった独仏哲学について概観する。 (科目情報) 教育プログラム第2学年 ◎科目 授業時間 46.5時間 Ⅱ (専攻科), 倫理。 (関連科目) 哲学特論Ⅰ・					
授業の進め方・方法		プラグマティズム,新実在論,分析哲学,弁証法的唯物論,生の哲学,現象学,実存哲学,精神分析学派,等について学習する。 (再試験について) 再試験は,総合評価が60点に満たない者に対して実施する。					
注意点		(履修上の注意) ノートをしっかり取ること。 (自学上の注意) 授業内容をそのつど復習すること。					
評価							
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	プラグマティズム(パース)			パースの哲学について理解できる。	
		2週	プラグマティズム(ジェイムズ)			ジェイムズの哲学について理解できる。	
		3週	プラグマティズム(デューイ)			デューイの哲学について理解できる。	
		4週	新実在論(ムア・ラッセル)			ムア・ラッセルの哲学について理解できる。	
		5週	分析哲学(マッハ・ヴィットゲンシュタイン)			マッハ・ヴィットゲンシュタインの哲学について理解できる。	
		6週	弁証法的唯物論(フォイエルバッハ)			フォイエルバッハの哲学について理解できる。	
		7週	弁証法的唯物論(マルクス)			マルクスの哲学について理解できる。	
	2ndQ	8週	生の哲学(ショーペンハウアー)			ショーペンハウアーの哲学について理解できる。	
		9週	前期中間試験				
		10週	前期中間試験の解答と解説 生の哲学(ニーチェ)			ニーチェの哲学について理解できる。	
		11週	生の哲学(ニーチェ)			ニーチェの哲学について理解できる。	
		12週	生の哲学(ベルクソン)			ベルクソンの哲学について理解できる。	
		13週	生の哲学(ディルタイ)			ディルタイの哲学について理解できる。	
		14週	現象学(ボルツァーノ・ブレンターノ)			ボルツァーノ・ブレンターノの哲学について理解できる。	
		15週	前期期末試験				
後期	3rdQ	16週	前期期末試験の解答と解説				
		1週	現象学(フッサール)			フッサールの哲学について理解できる。	
		2週	現象学(フッサール)			フッサールの哲学について理解できる。	
		3週	現象学(フッサール)			フッサールの哲学について理解できる。	
		4週	現象学(シェーラー)			シェーラーの哲学について理解できる。	
		5週	現象学(メルロー・ポンティ)			メルロー・ポンティの哲学について理解できる。	
		6週	実存哲学(キルケゴール)			キルケゴールの哲学について理解できる。	
		7週	実存哲学(ヤスパース)			ヤスパースの哲学について理解できる。	
	4thQ	8週	後期中間試験				
		9週	後期中間試験の解答と解説 実存哲学(ハイデガー)			ハイデガーの哲学について理解できる。	
		10週	実存哲学(ハイデガー)			ハイデガーの哲学について理解できる。	
		11週	実存哲学(サルトル)			サルトルの哲学について理解できる。	
		12週	実存哲学(サルトル)			サルトルの哲学について理解できる。	
		13週	精神分析学派(フロイト)			フロイトの精神分析学について理解できる。	

		14週	精神分析学派(フロイト以後)		フロイト以後の精神分析学について理解できる。		
		15週	後期期末試験				
		16週	後期期末試験の解答と解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。		3	前1,前2,前3,前6,前7,前14,後1,後2,後3,後4,後5
			公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。		3	前8,前10,前11,前12,前13,後6,後7,後10,後11,後12,後13,後14
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	法令やルールを遵守した行動をとれる。		3	前1,前2,前3,前4,前5
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。		3	前1,前2,前3,前4,前5
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0